

阿波線・玉滝線地域旅客運送サービス継続実施計画【概要版】

策定の背景

- 伊賀地域において運行を確保・維持する必要がある地域間幹線バスとして位置付けられている阿波線・玉滝線について、利用者数の減少が著しい「利用促進対策路線」として、平成29年度から対策が協議されてきた。令和6年1月に運行事業者である三重交通（株）から、国の補助対象外となった段階をもって路線の維持が困難であると相談を受けた。
- 令和7年1月、三重交通（株）から路線廃止を視野に入れた申出を提出。
- 2路線とも、沿線居住者の通学、通勤、通院、買い物等の利用に不可欠であり、特に高校生の通学に必要な路線となっている。地元関係者、伊賀市及び三重県で路線維持に向けて検討、協議を重ね、地域旅客運送サービス継続事業を活用することとなった。
- 令和7年2月から運行予定事業者の公募を行い、2路線とも三重交通（株）が選定された。
- 住民の日常生活や地域への来訪に必要な移動手段の確保のため、阿波線・玉滝線地域旅客運送サービス継続実施計画を策定。

■ 阿波線



■ 玉滝線



主な事業の内容

- 現行と同様の運行水準を確保（阿波線：平日7往復、休日5往復、玉滝線：平日7.5往復）
- 伊賀市地域公共交通計画、三重県地域公共交通計画において、路線の維持・確保のため、高校生の通学交通を対象としたモビリティマネジメントの展開、地域間幹線バスへの継続的な支援など各種事業に取り組むことを位置付け。

- 計画作成自治体
三重県、伊賀市
- 事業実施区域
三重県伊賀市
- 事業実施予定期間
令和7年10月～令和11年3月
- 運行事業者
三重交通（株）